

## 決 議

市場原理主義に基づいた、小泉・竹中ラインによる弱者切捨ての医療制度改革によって、日本の医療は崩壊の危機に瀕している。国はようやく行き過ぎた医療費抑制策の弊害を認め、崩壊した地域医療を立て直すべく、医療費の削減政策を改めようとしている。

疲弊した国民は、自分自身の健康を守るため、生活費を切り詰め維持してきた医療費支出も減らさざるを得なくなった。困窮する国民を救うため、国は医療制度のセーフティネットの再構築に乗り出すべきである。

我々医師は、我が国の医療を守るため、左記の事項を強く要求する。

### 記

- 一、受診抑制につながる患者負担を大幅に軽減せよ。
- 一、我が国の総医療費を速やかに先進諸国並みに引上げ、かつ維持せよ。
- 一、社会保障費年二二〇〇億の機械的削減を完全撤回せよ。
- 一、不合理極まりない控除対象外消費税を解消せよ。
- 一、レセプトオンライン化の完全義務化を撤廃せよ。

右、決議する。

平成二十一年九月五日

第一〇七回 札幌市医師会定時代議員会